歯科衛生学科

令和　　年度　　コ　マ　シ　ラ　バ　ス

（科目名）	（科目区分）	（授業形 講義・演習）	第　　回　（全　回）
（学年/学期） 年　／　後期	（日　付）	（場　所）	（担当教員）

［今日のテーマ］

高齢者施設における訪問口腔衛生指導

［今日の目標］

1　摂食嚥下リハビリテーションの訓練的対応について応用の実際が理解できる。
2　摂食嚥下リハビリテーションの方法が説明できる。
3　対象者に合わせた訓練方法が理解できる。
4　本事例を視聴し歯科衛生士観に気づくことができる。

［準備物］

テキスト・ノート
（学校準備）
スライド・ワークシート

［今日の学習内容］

①事前資料について感想を聞く
②動画撮影時のMさんの情報を共有する
③口腔機能向上のためのマッサージ（1）・・・1分体験
④口腔機能向上のためのマッサージ（2）・・・ワーク
⑤問題提示・・・ワーク
⑥問題提示・・・ワーク
⑦対象者に合わせたパタカラを考える。 ・・・発表
⑧直接訓練での配慮
⑨振り返り・感想

［キーワード］

キーワードについてはパワーポイントの中で示します

［テキストおよび参考書］

高齢者科学
摂食嚥下リハビリテーション
歯科診療補助論

［次回（　仮封材　）の学習内容＆準備物］

［授業へのアドバイス］

事前資料を視聴しMさんという女性への関心を深めることができましたか？本授業は歯科衛生士の活動として高齢者施設を訪問し口腔健康管理の業務を行った事例を動画で視聴してもらいます。動画撮影時までのMさんの背景やDHの関わり事前資料にまとめた通りですが、今回の動画は特に口腔機能管理に焦点を当てて作成しています。皆さんは歯科衛生士になったつもりで口腔機能向上の訓練をポイントに視聴し歯科衛生士（本田先生）の目線や思考に目を向けて積極的にワークを実施してください。また、間違いを恐れず主体的に意見を記入し参加することで学びが深くなります。本授業では、テキストに載っていいる口腔機能訓練の基礎知識、技術の復習とともに、Mさんの人生と歯科衛生士の13年間の関わりを通じ、基礎と応用の結びつきにも焦点を置き現場の歯科衛生士観に触れる努力を意識的に行えることを目標としています。

歯科衛生学科

令和　　年度　　コ　マ　シ　ラ　バ　ス

（科目名）	（科目区分）	（授業形 講義・演習）	第　　回　（全　回）
（学年/学期） 年　／　後期	（日　付）	（場　所）	（担当教員）

［今日のテーマ］

高齢者施設における入所者対応（認知症のある入所者）

［今日の目標］

1　認知症の中核症状と周辺症状が理解できる。
2　対象者に合わせた対応方法が理解できる。
3　本事例を視聴し歯科衛生士観に気づくことができる。

［準備物］

テキスト・ノート
（学校準備）
スライド・ワークシート

［今日の学習内容］

①事前資料について感想を聞く
②動画撮影時のHさんの情報を共有する
③ユマニチュードの4つの柱を理解し実践する･･･ワーク
④問題提示･･･ワーク
⑤問題提示･･･ワーク
⑥問題提示･･･ワーク
⑦対象者に合わせたセルフケアを考える。 ･･･発表
⑧認知症のある入所者への配慮
⑨振り返り･感想

［キーワード］

キーワードについてはパワーポイントの中で示します

［テキストおよび参考書］

プリント　高
齢者科学　摂
食嚥下リハビリテーション
歯科診療補助論

［次回（　仮封材　）の学習内容＆準備物］

［授業へのアドバイス］

重度の認知症のHさんの中核症状・周辺症状を観察することができましたか？本授業は歯科衛生士の活動として高齢者施設を訪問した場合、最も多く関わりのある認知症のある入所者への対応を動画で視聴してもらいます。この動画では、準備、声かけ、誘導、認知度確認、セルフケア、プロケア、機能訓練と一連の流れを確認することができます。皆さんは歯科衛生士として高齢者施設に訪問したつもりで視聴し、歯科衛生士（本田先生）の目線や思考、対応、声かけを学んでください。どのような細かい動作にも意味があります。最初からスムーズにはいかないと思いますが、意味のある動作を心がけることで無駄のない動きを身につけることができます。ワークは積極的に発言、参加し、間違いを恐れず主体的に意見を記入し参加することで学びが深くなります。本授業では、言葉だけでは伝わりにくい訪問歯科衛生管理・機能管理を行う歯科衛生士の対応の実際を知る事で、現場で実践できることを目標としています。